

事業所名

放課後等デイサービス にこにこクラブ

支援プログラム

作成日

R8 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		明日へ繋がる『もっと！』が生まれる場所。一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自立した日常を営むための必要な経験や、学びを提供できる居場所づくりを目指します					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの興味関心や、得意なことを見つけるために日々寄り添った支援に努めます。</li> <li>個別・集団支援で社会性やコミュニケーション等を学べる場を提供して、子どもたちが自己決定できる力を身につけることを目標として日々支援していきます。</li> <li>子どもたちへより良い支援をしていく上で、職員の内部研修、外部研修への派遣、定例会議など話し合いの場をつくり、職員全体がスキルアップを図れるように努めます。</li> </ul>					
営業時間		9 時	30 分から	18 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所に着くと、手洗い、うがい、検温を実施します。事業所にて過ごす中で、体調面に変わったことがあれば保護者様へ連絡します。</li> <li>生活リズムの安定のために、日中しっかりと体を動かし、夜間十分な睡眠がとれるように支援します。</li> <li>姿勢保持や疲れにくい身体の使い方の支援、作業活動を通じた集中時間の調整をしていきます。</li> <li>生活に必要な読み書きの支援をしていきます。また宿題のとりかかりが困難な人へ対して、構造化を意識した環境設定を行います。</li> <li>レクで食育について学んだり、フードロスの勉強会やリサイクル工場見学、クッキングへ参加して調理器具の使い方、食品の扱い方、簡単な調理等基本的生活のスキルの獲得を支援します。おやつは自由を選んで頂き、量調整も学びます。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢保持や上肢・下肢の運動、動作の改善向上のために、OTによる療育を取り入れます。また、リズムに合わせたダンスや運動、手遊び、忍者ゲーム等を取り入れていきます。</li> <li>触覚などの五感や固有受容覚、前庭覚の感覚運動としてビジョントレーニングやボールを使用した運動や鬼ごっこ、トランポリン、水遊び等でバランス感覚と体幹を鍛えていきます。</li> <li>天気の良い時は野外へ出て、野球、キャッチボール、バドミントン、遊具遊び、散策などを行います。</li> <li>感覚過敏がある利用者様へはイヤーマフの使用をしたり、学習時間や余暇時間に相談室を個室として開放したり等配慮を行います。</li> <li>指先トレーニングとして工作やプラモデル作り、パズル、ルービックキューブ等を取り入れていきます。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>日付や時間の把握に関する認知の形成として時計を見て行動をする、視覚的スケジュールの活用としてホワイトボードで確認をする、カレンダーを見て日付の確認をすることを意識して生活するように支援します。</li> <li>季節を感じることができるよう制作レクやイベントクッキング、野外散策への参加を支援します。</li> <li>適切な行動形成、認知の偏りへの配慮をグループでのレク、少人数でのレクへの参加を促し、手順書やSSTを通じてスムーズな参加ができるように支援していきます。</li> <li>ABAによる学習意欲の主体性向上のために、独自通貨を活用したトークンエコノミー法を取り入れた支援をしていきます。</li> <li>自分が過ごしやすい場所、落ち着くことができる場所がある事業所づくりに努めます。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み書きは個々の能力に合わせたプリントや教材、タブレットを用いて支援していきます。</li> <li>言語に特性がある利用者様については、絵カードや指さし等でコミュニケーションがとれるように、また気持ちの表現練習を支援していきます。</li> <li>既存の手順書の活用と作成をすることで、ルールや作業工程を視覚化して支援していきます。</li> <li>自主的な言語の表出に結びつくように、質問くし、利用者会議、朝の会での司会進行・点呼、ワークシートを活用することで支援していきます。</li> <li>TP01に応じた話し声の大きさ、トーンで会話するように支援していきます。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己理解とコントロールのためにワークシートを活用したり、集団生活内での気持ちのコントロール、お礼の言葉・謝りの言葉が言えるように支援します。</li> <li>就労へ繋がるようなプログラム、パソコン操作やタイピング、計量の練習、掃除、おやつの準備片付けなど役割活動を通して支援していきます。</li> <li>社会資源の積極的な活用として公共施設、公園、図書館、資料館、博物館、商業施設等を利用したり、出前講座の講師の先生に來所して頂く企画を立てたりして、様々な体験をしていきます。</li> <li>周囲と一緒に活動することが苦手な利用者様に、分かりやすいルール説明やルールを工夫することで段階的に集団活動へ参加できるように支援をしていきます。</li> <li>苦手な人がいる場合、距離を離れたり、場所を移動する等自己回避をとるように促します。また、人と話すやコミュニケーション時の距離感に気をつけるように支援していきます。</li> </ul>					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>きょうだい児を対象としたイベントを実施します。</li> <li>保護者様向けの研修を企画、開催します。</li> <li>体を動かすことで気分転換やストレス発散をしていただき、リセットしてご自宅へ帰られるように支援します。</li> <li>事業所で過ごした様子、健康状態についてSNSを通じて保護者様へお知らせし情報共有します。</li> <li>児童の発達、子育て等の困りごとへの相談、助言を行います。</li> </ul>				移行支援	インクルージョンを推進。個別のライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備（タイピング練習、公共交通機関の利用方法をプログラム活動に取り入れる）就職後の負担を少なくし、かつ就職活動に有利となる必要な知識・経験を身につける（社会体験プログラム：ボールペン組み立て、計量、タイピング、ゴミ箱、ゴミ袋折り）将来に向けての趣味や特技の幅を広げていきます。	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>外出レク（週に1回程度）や地域イベントへの参加、また地域にある公園や施設を利用する際において、公共の場を利用するマナーやルールを身につけていきます。</li> <li>公園へ出かけた時の清掃作業、事業所周辺の清掃作業を行います。</li> <li>医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携をしていきます。</li> <li>相談支援事業所や放課後等デイサービス等障害福祉サービス事業所との連携を行います。</li> <li>学校の見学や訪問、ボランティアの受け入れを行います。</li> </ul>				職員の質の向上	定期的なもの；毎月事業所内研修、ミーティング、ケースカンファレンス その他…外部研修への参加（行政からの研修、市内福祉団体主催の研修）、サービス担当者会議への参加、学校訪問	
主な行事等	毎月：季節レク制作、イベントクッキング、お誕生日会 季節行事：お花見、こどもの日祭り、七夕、夏祭り、ミニ運動会、体力測定、ハロウィン、クリスマス、正月あそび、初詣、節分等 長期休暇には社会体験や出前講座の実施（田植え・稲刈り体験、手芸教室、防犯教室、化石レプリカ作り体験、昭和の生活体験等） 週末、長期休暇には地域のイベントや施設、店舗等社会資源を活用した外出レクリエーションを積極的に取り入れています。						